

Panasonic

タッチパネルドライバーソフト インストールマニュアル

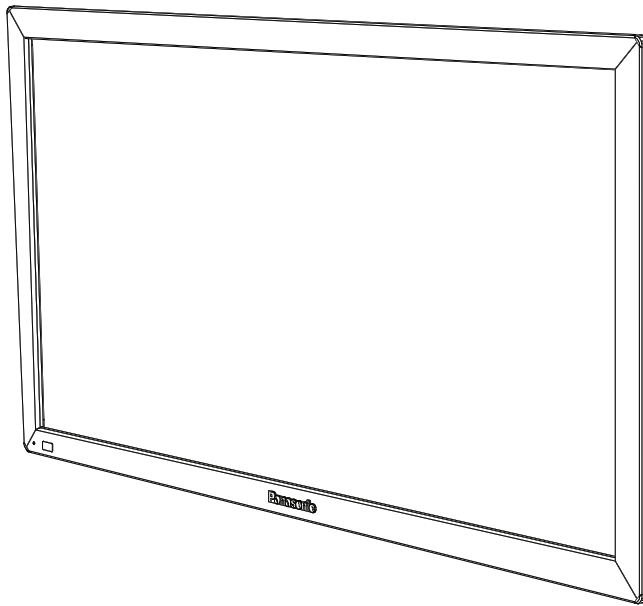
光学式タッチパネル 業務用

品番 TY-TP42P30K (42V 型用)

TY-TP50P30K (50V 型用)

TY-TP60P30K (60V 型用)

TY-TP65P30K (65V 型用)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本マニュアルおよびタッチパネル本体の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

目 次

はじめに	3
1. 動作環境など	4
2. インストールの前に	4
3. タッチパネルドライバーのインストール	5
4. Tpdrv マウスエミュレーションサービスのインストール	9
5. 設定プログラム	13
5-1. 動作状況表示	13
5-2. 動作設定	14
5-3. 表示設定	17
5-4. ペン設定	18
5-5. 詳細設定	19
5-6. キャリブレーション	19
5-7. カーソル位置微調整	20
6. アンインストール	21
6-1. Windows XP の場合	21
6-2. Windows Vista の場合	22
7. トラブルシューティング	23

はじめに

この度は、タッチパネルをお買い上げ頂きありがとうございます。

Windows XP、または Vista を接続してご使用の場合、タッチパネルドライバーをインストールする必要があります。

本マニュアルに従いインストールして頂きます様お願い致します。

Windows7 ではドライバーをインストールする必要はありません。

タッチパネルドライバーを使用すると、タッチパネルの出力データを、マイクロソフト社製シリアルマウスと互換性のあるプロトコルに変換し、アプリケーションプログラムに対しマウスと同等のユーザーインターフェースを提供し、既存のアプリケーションをタッチパネルで操作することや、タッチパネル応用アプリケーションの開発をマウスベースで進めることが可能となります。また、設定プログラムにより、タッチパネルの動作設定を変更することができます。

なお、本マニュアルは、Microsoft Windows の操作ができる方を対象としております。

Windows の操作方法については、お手持ちのマニュアル等でご確認下さい。

御注意

1. 本書及びドライバーソフトの内容の一部または全部を、当社に無断で複製転載する事はおやめください。
2. 本書及びドライバーソフトの内容に関して、改善のため予告なしに変更する事があります。
3. お客様もしくは第三者が本ドライバーソフトの使用を誤った事により生じた機器の故障、データの破損、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。
4. 本書に記載されている会社名、製品名等は各社の商標、または登録商標です。
5. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら巻末の宛先までご連絡頂ければ幸いです。
6. 落丁、乱丁はお取り替え致します。

Microsoft、Windows XP、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

その他、記載の会社名及び商品名は各社の登録商標または商標です。

なお、本文中に ™ 及び ® マークは記載しておりません。

1. 動作環境など

- 1) パソコン IBM PC/AT 互換機で、USB ポートおよび CD-ROM ドライブを搭載している、下記 OS が動作する機種。
OS Microsoft Windows XP 32bit 版または 64bit 版 (SP2 以上)、
Windows Vista 32bit 版または 64bit 版
- 2) PS/2 マウスのような通信ポートを使用しないポインティングデバイスとはお互いに干渉することなく同時に使用できます。
- 3) ドライバーのインストールに先立って、USB ポートが正常動作している必要があります。
- 4) 通信ポートを使用するアプリケーションとの併用は出来ない場合があります。
- 5) インストールおよびアンインストール時、「**コンピュータの管理者**」として Windows へログオンして下さい。
- 6) OS のバージョンや設定により、画面表示や内容が異なる場合があります。

2. インストールの前に

インストールは、ご使用の OS によってインストール方法が異なりますので、以下の手順に従って下さい。

- 1) タッチパネルドライバーをインストールします。
- 2) タッチパネルの USB ケーブルをパソコンに接続します。
接続方法について、詳しくはタッチパネル取扱説明書をお読み下さい。
- 3) Windows Vista をお使いの場合は、Tpdrv マウスエミュレーションサービスをインストールします。
- 4) パソコンを再起動するとドライバーソフトが動作を開始し、キャリブレーション画面が表示されます。
キャリブレーションを行った後、タッチパネルが使用できるようになります。
- 5) 以前のバージョンのドライバーがインストール済みの場合、アンインストール後に改めてインストールして下さい。アンインストールについては、「**第6章**」をご覧ください。

3. タッチパネルドライバーのインストール

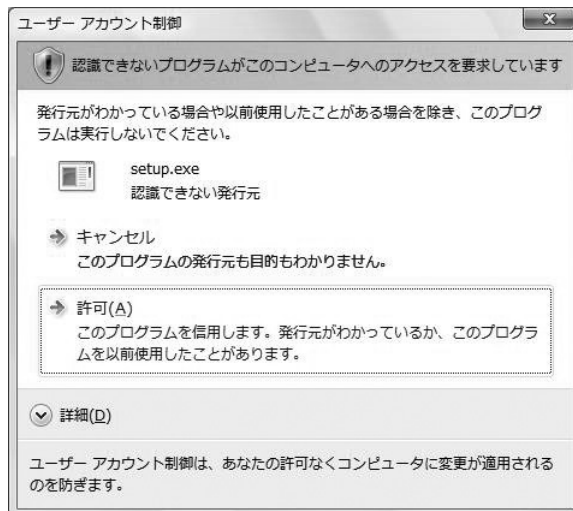
タッチパネルドライバーには専用のインストーラーが用意されています。

付属 CD の Japanese フォルダの「**setup.exe**」を起動するとインストールを開始します。

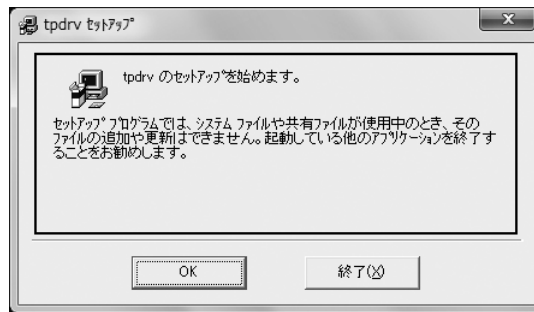
注) 以前のバージョンのドライバーがインストール済みの場合、アンインストール後に改めてインストールして下さい。アンインストールについては、「**第6章**」をご覧ください。

Windows Vista にインストールする場合は、はじめにユーザーアカウント制御画面が表示されます。

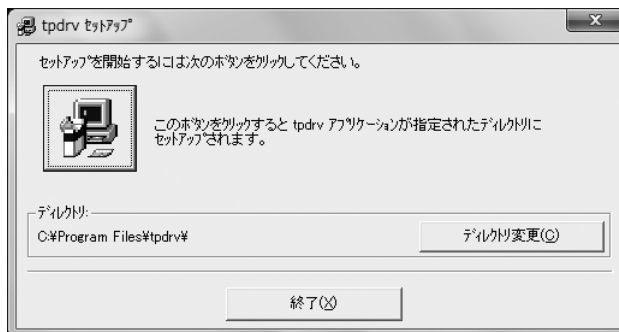
[はい] または [許可] をクリックします。



セットアッププログラム起動画面です。[OK] ボタンをクリックします。



セットアップディレクトリ選択画面です。ディレクトリの変更は行わないで下さい。



このボタンをクリックします。

プログラムグループの選択画面です。デフォルトではスタートアッププログラムとして登録されます。

Windows XP では「スタートアップ」に、Windows Vista では「Startup」に登録されます。

これによりパソコン立ち上げ時、ドライバソフトが自動で起動し、タッチパネルを使用することができます。

スタートアップ (Startup) グループ以外に登録すると、自動起動しませんので、注意して下さい。

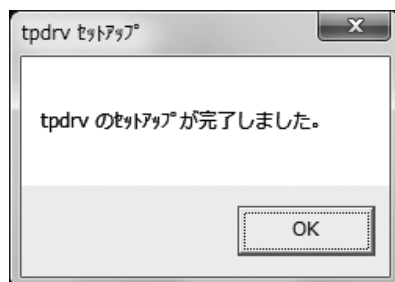
[継続] をクリックします。



必要なファイルがセットアップされます。



インストール終了です。[OK] ボタンを押して完了させます。



Windows XP をお使いの場合、パソコンを再起動させます。再起動後ドライバーソフトが動作を開始します。

Windows Vista をお使いの場合、ここで再起動は行わず、「**第4章**」の Tpdv マウスエミュレーションサービスのインストールを行って下さい。

タッチパネルドライバーを初めてお使いの場合、ドライバーソフト開始後、キャリブレーション画面が表示されます。

キャリブレーションを行った後、タッチパネルが使用できるようになります。

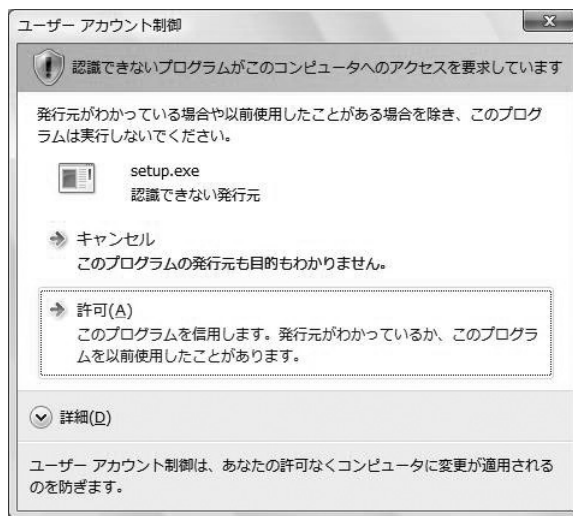
キャリブレーションについては、「**第5章** 5-6. キャリブレーション」をご覧ください。

4. Tpdrrv マウスエミュレーションサービスのインストール

Windows Vista をお使いの場合、Tpdrrv マウスエミュレーションサービスのインストールが必要です。

Tpdrrv マウスエミュレーションサービスには専用のインストーラーが用意されています。付属 CD の Japanese フォルダの TpMouEm フォルダの中にある、「**setup.exe**」を起動するとインストールを開始します。

Setup.exe を起動すると、はじめにユーザーアカウント制御画面が表示されます。**[はい]** または **[許可]** をクリックします。



セットアップウィザード初期画面です。**[次へ]** をクリックします。



インストールフォルダ選択画面です。フォルダの変更は行わないで下さい。
[次へ]をクリックします。



インストールの確認画面です。[次へ]をクリックします。



必要なファイルがインストールされます。



インストール完了画面です。[閉じる]をクリックします。



最後に、再起動を促す画面が表示されます。[はい]をクリックして、パソコンを再起動して下さい。



パソコンの再起動後、ドライバーソフトが動作を開始します。

タッチパネルドライバーを初めてお使いの場合、ドライバーソフト開始後、キャリブレーション画面が表示されます。

キャリブレーションを行った後、タッチパネルが使用できるようになります。

キャリブレーションについては、「**第5章** 5-6. キャリブレーション」をご覧ください。

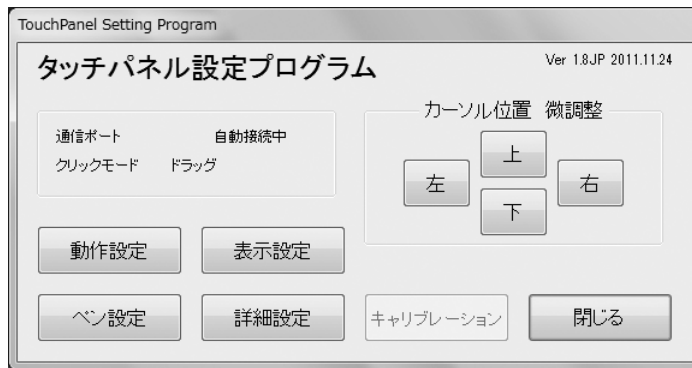
5. 設定プログラム

このソフトは、通信ポートの設定、各種動作モードの設定やキャリブレーション等を行なう設定プログラムです。変更した内容は設定ファイルに保存されますので、以降の再起動でも変更した内容が有効になります。

各ボタンを押すことでそれぞれの項目の設定ウィンドウを表示し、設定内容を変更できます。

各項目の変更は、[OK] ボタンを押してウィンドウを閉じると同時に設定値を設定ファイルに記録し、稼働中のドライバーソフトに反映します。

[閉じる] ボタンを押すと設定プログラムを最小化してタスクバーに格納します。



5-1. 動作状況表示

メイン画面に、タッチパネルを接続している通信ポート番号とクリックモードの設定内容が表示されます。

タッチパネルが接続され通信が可能になると、通信ポートの表示が「*** 自動接続」、又は「*** 接続」になります。しばらくしても「自動接続中」又は「*** 切断」となる場合、タッチパネルとの接続に失敗していますので、「動作設定」の「通信ポート」が正しく設定されているか確認して下さい。

表示例

通信ポート	自動接続中
クリックモード	ドラッグ

通信ポートは「自動接続」に設定してあり
タッチパネルの接続待ちの状態です。
クリックモードは「ドラッグ」に設定してあります。

通信ポート	*** 自動接続
クリックモード	クリックオンタッチ

通信ポートは「自動接続」に設定してあり
タッチパネルは接続され、ポートは「***」です。
クリックモードは「クリックオンタッチ」に設定してあります。

通信ポート	*** 接続
クリックモード	ドラッグ

通信ポートは「***」の手動接続（自動接続以外）に設定してあり
タッチパネルは設定のポートに接続されています。
クリックモードは「ドラッグ」に設定してあります。

5-2. 動作設定



1) 通信ポート

タッチパネルとの接続に使用している通信ポートを設定します。

自動接続を選択した場合は、ドライバーソフトが自動検出して設定します。自動接続できない場合は、接続している通信ポートを選んで下さい。初期設定は「**自動接続**」です。

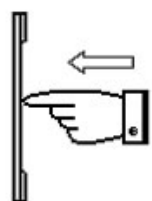
2) クリックモード

タッチパネルの入力モードを選択します。タッチ入力と、マウスボタンを押したときの関係を設定できます。初期設定は「**ドラッグ**」です。

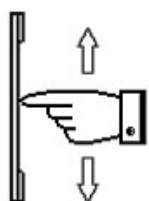
①ドラッグ

パネルへのタッチ動作をマウスの左ボタンの押し下げ（ボタンダウン）に、パネルから指を離す動作を左ボタンの開放（ボタンアップ）に対応させます。

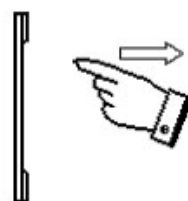
従ってパネルから指を離れた時にクリックイベントが発生します。また、指移動時にはマウスカーソルが追従しドラッグ操作が可能です。



ボタンダウン



ドラッグ

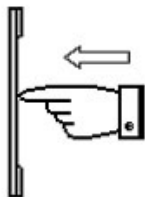


ボタンアップ
クリックイベント発生

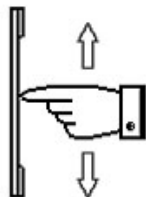
②クリック オン タッチ

パネルへのタッチ動作を、左ボタンのシングルクリック（ボタンダウン／ボタンアップ）に対応させます。

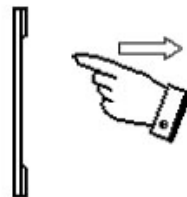
パネルにタッチした時にクリックイベントが発生します。



ボタンダウン
ボタンアップ
クリックイベント発生



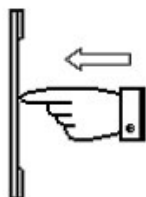
変化なし



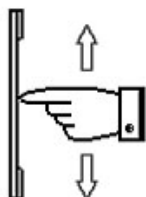
変化なし

③クリック オン リリース 1

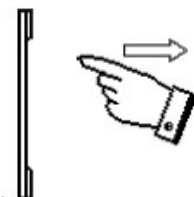
パネルから指を離れたときにクリックイベントが発生します。パネルに指が触れている間はボタンダウンイベントが発生しません。



変化なし



変化なし



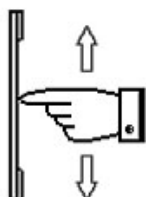
ボタンダウン
ボタンアップ
クリックイベント発生

④クリック オン リリース 2

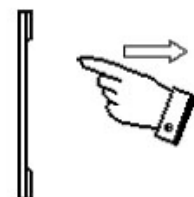
パネルにタッチしたときにボタンダウンイベントが発生し、パネルから指を離れたときにクリックイベントが発生します。指移動時にカーソルは追従しません。



ボタンダウン



変化なし



ボタンアップ
クリックイベント発生

3) クリック補正

クリックの補正方法を設定します。初期設定は「標準」です。

ご使用されるアプリケーションによってはクリックのエリアが狭く、タッチによるクリックがしにくい場合があります。その際はクリック補正を「特殊」に設定頂くことによりボタンダウンとボタンアップの場所を一定の条件下で揃える機能が働き、クリックが入りやすくなります。

標準：文字などの手書きを行う場合に設定します。通常はこちらを設定してご使用ください。

特殊：HTMLなどで作られたクリックエリアが小さい操作を行う場合に設定します。

4) ダブルクリック補正

ダブルクリックの補正方法を設定します。初期設定は「標準」です。

標準：文字などの手書きを行う場合に設定します。通常はこちらを設定してご使用ください。

特殊：ダブルクリックをメインで使用する場合に設定します。

5) 補正時間

クリック補正とダブルクリック補正を認識させる時間を設定します。0.2 秒間から 1.0 秒まで、0.2 秒間隔で設定できます。初期設定は「**0.4 秒**」です。

この設定を変更する時はコントロールパネルのマウスのプロパティで、ダブルクリックの速度を“遅く”に（スライダーを一番左に）設定して下さい。

クリックの場合：ボタンダウンからボタンアップまでの時間を設定します。

ダブルクリックの場合：1 回目のタッチから 2 回目のタッチまでの時間を設定し、設定した時間内に 2 回目のタッチがあった場合にダブルクリックとして認識させます。

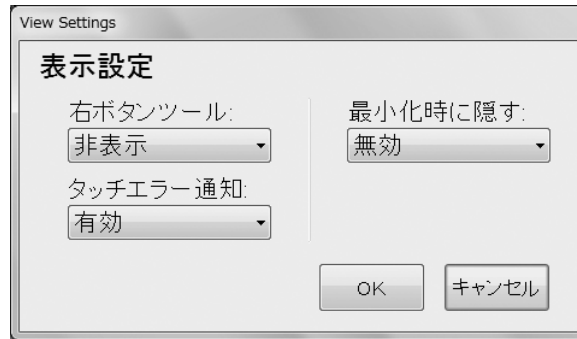
6) 補正範囲

クリックとダブルクリックの有効範囲を設定します。“広い”に設定すると広くなり、“狭い”に設定すると狭くなります。初期設定は「標準」です。

クリックの場合：ボタンダウンからボタンアップまでの有効範囲を設定します。

ダブルクリックの場合：1 回目のタッチ（クリック）と 2 回目のタッチ（クリック）が、若干ずれた場合でもクリックとして認識できます。

5-3. 表示設定



1) 右ボタンツール

タッチパネルでマウス右ボタンの操作を行ないたい場合に使用します。初期設定は「**非表示**」です。

表示 : 右ボタンツールを表示します。

非表示 : 右ボタンツールを表示しません。

右ボタンツールにタッチすると次のタッチ入力 1 回だけが右ボタン押下として動作します。これ以降は通常の左ボタン動作に戻ります。



左ボタン動作時の表示

タッチ入力時、「クリックモード」設定内容に従い、通常の左ボタンとして動作します。



右ボタン動作時の表示

タッチ入力時、「クリックモード」設定内容に従い、マウスの右ボタンとして動作します。

2) タッチエラー通知

タッチパネル使用時に画面にものが置かれた場合に警告を出したい場合に使用します。初期設定は「**有効**」です。

有効 : エラー警告を通知します。

無効 : エラー警告を通知しません。

3) 最小化時に隠す

タッチパネル設定プログラムを閉じた時、タスクトレイに格納したい場合に使用します。初期設定は「**無効**」です。

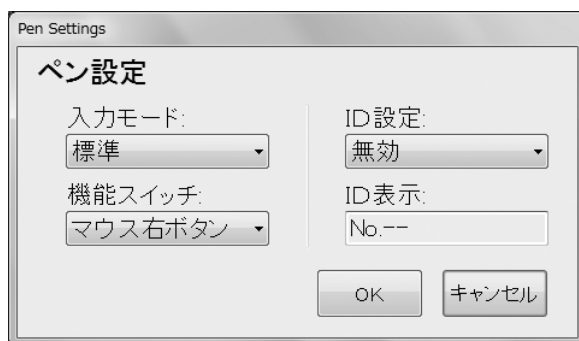
有効 : タッチパネル設定プログラムをタスクトレイに格納します。

無効 : タッチパネル設定プログラムをタスクバーに残します。

5-4. ペン設定

ペン設定は、別売の電子ペンを使用する場合に設定してください。

電子ペンのご使用にあたって、詳しくは電子ペンの取扱説明書を合わせてお読み下さい。



1) 入力モード

手書きまたは電子ペンのどちらを使用するか、入力モードを設定します。初期設定は「標準」です。

標準 : 手書きモードと電子ペンモードをタッチパネルが自動で切り替えます。
通常は、このモードで使用します。

手書き : 電子ペン以外（指など）で入力を行いたい時のみ設定します。
電子ペンを使用する場合は「標準」設定でご使用ください。

ペン : 電子ペンでのみ入力できます。電子ペン以外での操作を無効にする際に設定します。

2) 機能スイッチ

電子ペンの機能スイッチを設定します。初期設定は「マウス右ボタン」です。

無効 : 電子ペンの機能スイッチは働きません。

マウス右ボタン : 機能スイッチを押しながらディスプレイに触れることにより、マウスの右ボタンをクリックした動作になります。

3) ID 設定

電子ペンに設定してある ID をタッチパネルドライバー側で合わせます。タッチパネルを 2 台並べて使用する場合など、電子ペンの誤動作防止のために設定します。初期設定は「ID 無効」です。

無効 : 電子ペン側の ID を問わず、信号を受け付けます。

No.1 ~ 4 : 同じ ID に設定されている電子ペンの信号だけを受け付けます。

4) ID 表示

現在使用している電子ペンの信号を感知すると、電子ペンに設定してある ID を表示します。

電子ペンの ID 設定方法などご使用にあたって、詳しくは電子ペンの取扱説明書をお読み下さい。

5-5. 詳細設定



1) キャリブレーションモード

キャリブレーションのモードを設定します。初期設定は「標準」です。

標準 : 画面解像度、画面表示方法を通常表示の場合に設定します。

特殊 : 画面表示を拡大表示や、切り出し拡大など特殊な画面を表示する場合に設定します。

コーナー : 「標準」のキャリブレーションのターゲット位置をコーナーに設定します。

5-6. キャリブレーション

タッチした場所に正しくマウスカーソルを追従させる為の校正（位置合わせ）を行ないます。

キャリブレーション画面は、初めてドライバーを起動した時（インストールの再起動後）、タッチパネルがパソコンに接続されていれば自動で表示されます。

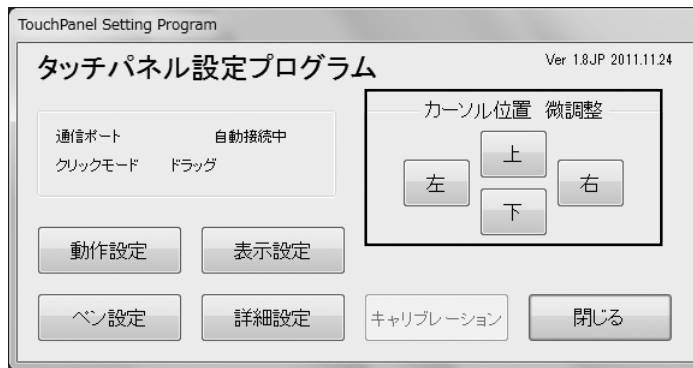
画面の指示に従って画面に表示されるターゲットの中心を、順番にタッチしてください。ターゲット表示は、3点になります。

途中で中止したい場合は、キーボードのいずれかのキーを押してください。

一度、キャリブレーションを行なうと、その校正値は設定ファイルに保存されます。次回起動時、設定ファイルより校正値を読み取り起動しますので、改めてキャリブレーションを行なう必要はありません。

5-7. カーソル位置微調整

通常、キャリブレーションを実行することにより、タッチした場所とマウスカーソルの位置は同一ポイントになりますが、視差などの関係で微調整したい場合に、このボタンを使用して下さい。



6. アンインストール

6-1. Windows XP の場合

コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から次の手順に従って削除して下さい。

- 1) タッチパネルとパソコンを接続している USB ケーブルをパソコンから外します。
- 2) コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を開きます。



3) 「tpdrv」を、メッセージに従い削除します。

4) パソコンを再起動します。

6-2. Windows Vista の場合

コントロールパネルの「プログラムと機能」から、次の手順に従って削除して下さい。

- 1) タッチパネルとパソコンを接続している USB ケーブルをパソコンから外します。
- 2) コントロールパネルの「プログラムと機能」を開きます。



- 3) 「tpdrv」を、メッセージに従い削除します。
- 4) 「Tpdv Mouse Emulation service」を、メッセージに従い削除します。
- 5) メッセージに従いパソコンを再起動します。

7. トラブルシューティング


トラブルに関して、タッチパネルの取扱説明書のトラブルシューティングも合わせてお読み下さい。

こんなとき	確認	処置	ページ
インストールに失敗する	コンピューターの管理者としてインストールをされていますか？	管理者権限を持つユーザー名でログインし、インストールをやり直してください。	-
	ドライバーソフトが正しくセットアップされていますか？	ドライバーソフトのセットアップについては、本書をご参照の上、正しく行って下さい。	P.4
入力しても全く応答しない	ドライバーソフトが正しくセットアップされていますか？	ドライバーソフトのセットアップについては、本書をご参照の上、正しく行って下さい。	P.4
	ドライバーソフトの通信ポートは適切ですか？	自動接続または、通信ポートが正しく設定されていますか。 パソコンの通信ポートのアドレス及び割り込みが正しく設定され、正常動作している必要があります。通信ポートの設定はパソコンにより異なりますので、お使いのパソコンの取扱説明書等で確認して下さい。また、通信ポートを使用するアプリケーションとの併用は出来ない場合がありますので、その様なアプリケーションは終了させてください。通信ポートの設定については本書【5-2. 動作設定 1) 通信ポート】をご参照ください。	P.14
	ドライバーソフトは起動していますか？	ドライバーソフトを起動してください。	-
応答が鈍いまたは応答しない部分がある	ドライバーソフトのクリックモード設定は適切ですか？	ドライバーソフトのクリックモード設定については、本書【5-2. 動作設定 2) クリックモード】をご参照ください。	P.14

こんなとき	確認	処置	ページ
	タッチパネルを取り外しましたか？	タッチパネルを取り外し、再度取り付けると、前回の取付位置よりずれている場合があります。タッチ位置とカーソル位置があわなくなることがあります。タッチパネルを取り外したときは、必ずタッチパネルドライバソフトのキャリブレーション設定を行って下さい。キャリブレーションの設定については、【5-6. キャリブレーション】をご参照ください。 視差などの関係で微調整したい場合は【5-7. カーソル位置微調整】に従って微調整を行ってください。	P.19
タッチした場所がずれる	ドライバーソフトでのキャリブレーション設定は行われていますか？	キャリブレーション設定に失敗すると、パネルに入力した位置とマウスカーソルの位置がずれてしまいます。キャリブレーション設定を適切に行ってください。キャリブレーションの設定については、本書【5-6. キャリブレーション】をご参照ください。 視差などの関係で微調整したい場合は【5-7. カーソル位置微調整】に従って微調整を行ってください。	P.19
	ドライバーソフトのクリックモード設定は適切ですか？	ドライバーソフトのクリックモード設定については、本書【5-2. 動作設定 2) クリックモード】をご参照ください。	P.14
入力応答が異なる	ドライバーソフトのクリックモード設定は適切ですか？	ドライバーソフトのクリックモード設定については、本書【5-2. 動作設定 2) クリックモード】をご参照ください。	P.14

以上の確認事項を行われた後でも改善がなかった場合は、弊社営業所又はお買い上げの代理店にお申し出ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号  大阪 (06) 6905 - 5574
© Panasonic Corporation 2012